

10回通常総会資料

日時：令和5年6月3日（土）午後1時～

場所：厚生連高岡病院 講堂（北診療棟3階）

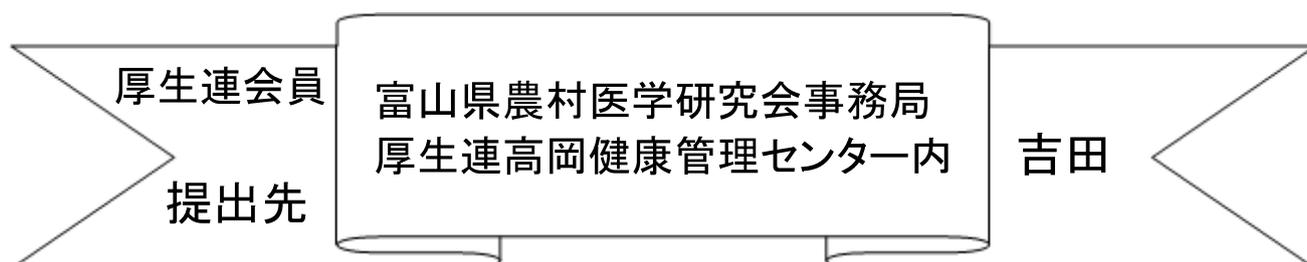
富山県農村医学研究会

委 任 状

富山県農村医学研究会
会 長 鏡森定信 殿

氏名 _____ 印

私は、 _____ を代理人と定め、
令和5年6月3日（土）開催の第10回通常総会の
議決の権限を委任致します。



※一般会員は、同封のハガキに記入して
投函してください。

第10回通常総会次第

日時：令和5年6月3日（土）午後1時
場所：厚生連高岡病院 講堂（北診療棟3階）

午後1時～

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選任
4. 議事録署名人（2名）及び書記（2名）
5. 議 事
第1号議案 令和4年度事業報告および収支決算書承認について
第2号議案 令和5年度事業計画案および収支予算案の承認について
6. 閉 会

午後2時～

特別講演（一般公開）

「食の安全」に関わる最近の動向

ネオニコおよびグリホサート・ラウンドアップ関係の毒性と、世界の動向

講師：フリージャーナリスト 天笠啓祐 氏



講師プロフィール

天笠 啓祐（あまがさ けいすけ）氏

東京都出身。早稲田大学工学部卒業。フリージャーナリスト。

日本消費者連盟顧問。遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表。

市民バイオテクノロジー情報室代表。

著書『ゲノム操作食品の争点』、『ゲノム操作・遺伝子組み換え食品入門』、
『子どもに食べさせたくない遺伝子組み換え食品』など多数。

富山県農村医学研究会第10回総会 特別講演（一般公開）

「食の安全」に関わる最近の動向

ネオニコおよびグリホサート・ラウンドアップ関係の毒性と、世界の動向



講師プロフィール

天笠 啓祐（あまがさ けいすけ）氏

東京都出身。早稲田大学理工学部卒業。フリージャーナリスト。

日本消費者連盟顧問。遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表。

市民バイオテクノロジー情報室代表。

著書『ゲノム操作食品の争点』、『ゲノム操作・遺伝子組み換え食品入門』、

『子どもに食べさせたくない遺伝子組み換え食品』など多数。

令和5年6月3日（土）14：00から15：30
厚生連高岡病院講堂（北診療棟3階）
事前申し込み不要



HP アドレス

厚生連高岡病院 <http://www.kouseiren-ta.or.jp/pagedata/n-tnouson/index.html>

富山県農村医学研究会

会長 鏡森定信

事務局（吉田）

高岡市永楽町 5-10

TEL 0766-21-3930 (3903)

令和4年度事業報告

I. 事業の概要

令和4年度の事業終了に当たり、事業の概況について報告致します。

本会では豊かな農業・農村を維持する農業者の健康づくりについて様々な調査研究を行ってまいりました。

特に、本会設立以来、全国に先駆けて農作業事故の実態調査を続け、農水省が実施する「農作業事故の対面調査」を主導的に推進してまいりました。また、高齢者が農作業に携わる事による健康保持増進効果に関する調査も引き続き実施してまいりました。

これらの研究成果は、令和4年10月に山口県で開催された第71回日本農村医学会、並びに令和5年3月開催の第40回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会(新型コロナウイルス感染拡大で中止)など、各種学会で発表してきました。

以上、本会の活動は、医療関係者はもとより行政、農協および農村の保健と医療に関心のあるあらゆる方々の協力により実施されてきました。次年度も引き続き事業計画に基づき、さらに研究調査に鋭意取り組んでいきたいと思っておりますので、会員各位の絶大なるご協力をお願いいたします。

II. 主な事業項目の概要

1. 研究調査活動

(1). 農業災害事故調査

目 的

昭和45年から実施している、農業機械災害事故および農業機械以外の農作業災害事故調査について継続して実施した。

調査方法

例年通り、県内の関連する医療機関約800カ所に対して臨床例の有無について照会し農作業事故の臨床例の収集を行った。なお、40年以上続いた全共連富山県本部の生命・傷害共済証書より事案の抽出は、平成24年度以降今年度も事案収集がでず、過去の連続調査の質とここ5年間では例数や内容が大きく変わっている。今年度は全共連で検索事項など検討することになり、2018, 2019, 2020, 2021, 2022年は提供されませんでした。

調査結果と考察

医療機関より収集された臨床例は農機10例、農機外9例、計19例で、うち死亡事故は2例であった。富山県農業災害事故調査報告書は、当会のホームページに掲載してある。

<http://www.kouseiren-ta.or.jp/pagedata/n-tnouson/index.html>

(2). 農業機械の騒音に関する調査研究

(3). 高齢者の「認知－判断－操作」の機能評価

目 的

高齢者が農業機械を操作する際に、危険を「認知」して、どのような操作をすべきか「判断」して、実際に判断した通りに「操作」することが必要である。この「認知－判断－操作」の一連の流れが滞ると、事故につながりかねない。この機能評価に前年に開発した「モグラ叩き」ソフトを用い、各年齢毎の標準値を求め、実際の作業者がどの程度の水準出来るかの指標となるよう、標準化のための調査を行った。

なお、昨年度同様の調査を行っているが、例数をさらに増やし、年齢標準線の一般化をめざした。

方 法

平成29年度において、「モグラ叩きゲーム」を点数化するソフトを確定した。

+1点、+2点、-1点、-2点の4種類のモグラのキャラクターが次々と出現し、時間は1分間である。各種会合参加者に「モグラ叩き」を点数化各年代別に一定の人数の被験者にて、「モグラ叩き」を実施し、併せて農作業時の事故経験、ヒヤリハットなどをアンケート調査し、モグラ叩きの点数と、事故との関連について検討した。調査は3回テストを行い、その最高点をその人の点数とした。

「モグラ叩き」による「認知」⇒「判断」⇒「操作」機能の評価について

モグラ叩きの結果判定基準値を、得点、敏捷性（1打点に要する時間）、間違い率（総打点数に対する間違っ叩いた回数の比率）の3項目と対同年齢得点・判定、総合判定、グラフについて設定を特定し、ソフトの改修を進めている。

(4) 研究助成

酒井理事の富山県農業における農法転換の可能性に関する研究（2）－生物多様性に配慮した有機農法の事例－

県内で採用されている慣農法、及び、環境保全型農法・有機農法に関する資料を収集する。これらにより、富山県農業の歴史と現状、農法上の課題を把握し、農法変革への県内機関・団体・組織の取り組みを把握する。また、南砺市からは、「オーガニック・ビレッジ」実現に向けた課題と工夫について把握する。

大変意義のある研究で、これに対して助成金を20万円とした年度末に、報告を受ける。報告は、会誌第41巻に掲載した。

2. 各種研究会参加

(1) 第71回日本農村医学会学術総会 Web開催

・開催日 令和4年10月13日（木）～10月14日（金）

・会員発表 4題

① 刈払機の事故様態分析結果に基づく安全対策について

富山県農村医学研究所

大浦栄次

② 富山県の空中花粉飛散と気象要因の関連性

－5年間のスギ花粉飛散状況（2017～2021）

富山県農村医学研究所

吉田稔

③ 富山県における無花粉スギ利用と花粉症予防の課題

富山県農村医学研究所

寺西秀豊

(2) 第40回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

・開催日 令和4年3月 新型コロナ感染拡大のため中止で抄録作成

・会員発表 5題

① 夕方から就寝までの飲食終了時間及びブルーライトとメタボリックシンドロームの関連性について

厚生連高岡健康管理センター

渡邊亜希ほか

② 病棟に勤務する女性看護師の職業性ストレスに関する生活習慣およびストレスコーピング

厚生連滑川健康管理センター

廣明志保ほか

③ 富山県の公式統計情報を用いた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)第7波の疫学像の検討

富山県農村医学研究所

富山協立病院

寺西秀豊

④ 富山県の空中花粉飛散と気象要因の関連性（ポールンロボ）2022

富山県農村医学研究会

吉田 稔

⑤ トラクター「作業時」の事故様態と安全対策

富山県農村医学研究所

大浦栄次

Ⅲ. 主な行事（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

年.月.日	主 な 行 事		
	事 項	場 所	
R4.5	役員会 書面評決		
R4.6.4	第8回総会 書面評決		
R4.6.24	第40巻会誌発刊		
R4.8.16	役員会 書面評決		
R4.10.13 ～10.14	第71回日本農村医学会総会 山口県開催		(演題3題)
R4.10.4	富山県農業災害事故実態調査(前期)		県内医療機関
R4.12.20	役員会 書面評決		
R5.2.4	富山県農業災害事故実態調査(後期)		県内医療機関
R5.3	第40回富山県農村医学研究及び健康 管理活動発表集会 新型コロナウイルス感染拡大で中止		(会員発表5題)

Ⅳ. 総会

第9回総会

総会日現在会員数		308名
出席会員 数	書面評決した会員数	185名
	計	185名
重要なる議事及び議決事項 第1号議案 令和3年度事業報告・収支決算書承認について 原案承認 第2号議案 令和4年度事業計画案・収支予算書案承認について 原案承認		

令和 4年度 収支決算書
(令和04年4月1日～令和05年3月31日)

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 費 収 入	306,000	306,000	0	
会 費	306,000	306,000	0	306名×1,000円
特 別 負 担 金	1,470,000	1,470,000	0	
特別負担金	870,000	870,000	0	厚生連
調査研究協力費	600,000	600,000	0	厚生連
雑 収 入	100	12	-88	
雑 収 入	100	12	-88	利息など
前期繰越金	733,517	733,517	0	
収 入 計	2,509,617	2,509,529	-88	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 議 費	400,000	87,720	-312,280	
総 会 費	300,000	87,720	-212,280	資料他
役員 会費	100,000	0	-100,000	
事 業 費	1,780,000	1,588,280	-191,720	
研究調査費	1,000,000	959,250	-40,750	各種調査研究
専門委員会費	0	0	0	各種調査研究打合せ
研究集会費	100,000	101,175	1,175	発表集会抄録集他
会誌発行費	500,000	386,650	-113,350	
編集委員会費	0	0	0	
通 信 費	100,000	81,205	-18,795	
消 耗 品 費	80,000	60,000	-20,000	
備品・什器	0	0	0	
旅費交通費	250,000	149,680	-100,320	
旅費交通費	250,000	149,680	-100,320	学会他
雑 費	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	79,617	42,440	-37,177	
予 備 費	79,617	42,440	-37,177	日本農村医学会個人費2名他
支 出 計	2,509,617	1,868,120	-641,497	
次期繰越金	0	641,409	641,409	

財 産 目 録

(令和04年3月31日現在)

(単位：円)

内 訳	金 額	備 考
預 金	641,409円	
計	641,409円	

監 事 の 意 見 書

令和05年4月 日に会長理事から提出された第1年度の事業報告書、財産目録、収支決算書の各事項について監査致しました。その結果、以上の内容は適正なものと認めます。

令和05年 4月26日

富山県農村医学研究会

監事 高木 茂



監事 伊井 徹



令和5年度事業計画（案）

I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

特に、農薬中毒や農業災害、職業性疾患等農業医学的分野及び、農村環境や農村生活に起因する農村医学的分野について調査研究を行う。さらに、命を育む農業を営む事の精神的、社会的、文化的意義を明らかにし、心豊かな農村づくりに寄与する。

II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究

- ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

- ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
- ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究

3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究

- ・農薬中毒の実態調査
- ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
- ・農薬の生体残留に関する調査研究

4. 健康管理に関する調査研究

- ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
- ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
- ・農業従事者の生活習慣病の実態調査とその対策に関する調査研究

5. 農村における社会医学的研究

- ・農村における高齢者に関する調査研究
- ・社会変動による農業従事者の生活・健康に及ぼす影響についての調査研究
- ・都市近郊農村における社会医学的研究
- ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究

6. 農村における特殊疾患の調査研究

- ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

7. 農村における環境汚染およびその変化と健康影響に関する調査研究

8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究

9. 農村の健康会議、健康教室等の実施

10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行

11. 研究集会の参加及び開催

12. その他目的達成に必要な事項

III. 主な事業計画

1. 主な調査研究

(1) 農業災害に関する調査研究

- ①富山県における農業災害事故調査

- ②農業災害事故のケーススタディ
- ③高齢者の農作業安全に関わる調査研究
- (2) 農薬中毒に関する調査研究
 - ①農薬散布者の健康調査
 - ②有機リン剤の体内残留に関する調査研究
- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
 - ①農村地区における花粉症に関する調査研究
 - ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究
- (4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究
 - ①各種農作業における作業環境及び労働負荷に関する調査研究
- (5) 農山村における騒音と聴力障害などに関する調査研究
 - ①農業機械の騒音分析及び作業中騒音暴露量の測定
- (6) 農村環境の変化と健康影響に関する調査研究
 - ①農村における熱中症など温暖化影響に関する調査研究
 - ②農村における自然エネルギーの実態と利用の将来的可能性に関する調査
- (7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究
 - ①食生活と健康に関する調査研究
 - ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究
 - ③農村におけるメタボリックシンドロームの実態とその対策
- (8) 農村におけるプライマリーヘルスケアに関する調査研究
 - ①農村における健康管理運動に関する調査研究
 - ②農村検診における各種疾患の要因分析に関する調査研究
- (9) 農村における高齢者問題に関する調査研究
 - ①農村高齢者の生きがい因子の解析に関する調査研究
 - ②農村高齢者の農作業と骨密度の関連に関する調査研究
 - ③農村における介護および認知症等に関する調査研究
- (10) その他、農山漁村における各種健康・保健調査の実施

2. 各種研究集会参加・交流並びに開催

- (1) 第41回富山県農村医学研究及び健康管理福祉活動発表集会の開催
令和6年3月2日(土) 予定、厚生連高岡病院地域研修センター
- (2) 第72回日本農村医学会
開催日時：令和5年10月 秋田県秋田市開催予定

3. 会誌等の印刷物の発刊

- ①会誌の発刊
- ②農村医学に関する啓蒙資料の作成
- ③その他

4. その他目的達成に必要な事業

令和 5年度 収支予算書
(令和05年4月1日～令和06年3月31日)

収入の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	予 算 額	差 引 額	備 考
会 費 収 入	306,000	306,000	0	
会 費	306,000	306,000	0	306名×1,000円
特 別 負 担 金	1,470,000	1,470,000	0	
特別負担金	870,000	870,000	0	厚生連
調査研究協力費	600,000	600,000	0	厚生連
雑 収 入	100	101	1	
雑 収 入	100	101	1	利息など
前期繰越金	733,517	641,409	-92,108	
収 入 計	2,509,617	2,417,510	-92,107	

支出の部

項 目	前年度予算額	予 算 額	差 引 額	備 考
会 議 費	400,000	400,000	0	
総 会 費	300,000	300,000	0	資料、会場費、講師料他
役員 会費	100,000	100,000	0	役員会3回
事 業 費	1,780,000	1,780,000	0	
研究調査費	1,000,000	1,000,000	0	各種調査研究
専門委員会費	0	0	0	各種調査研究打合せ
研究集会費	100,000	100,000	0	発表集会抄録集、会場費他
会誌発行費	500,000	500,000	0	
編集委員会費	0	0	0	
通 信 費	100,000	100,000	0	
消耗品費	80,000	80,000	0	
備品・什器	0	0	0	
旅費交通費	250,000	200,000	-50,000	
旅費交通費	250,000	200,000	-50,000	
雑 費	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	79,617	37,510	-42,107	
予 備 費	79,617	37,510	-42,107	
支 出 計	2,509,617	2,417,510	-92,107	
次期繰越金	0	0	0	

役員名簿

富山県農村医学研究会役員名簿

R5.7.1

理 事	役 職
鏡 森 定 信	富山産業保健総合支援センター所長
尾 島 輝 佳	富山県農業技術課 課長
安 藤 満	元富山国際大学教授
寺 西 秀 豊	元富山大学医学部公衆衛生学教室 准教授
酒 井 富 夫	富山大学名誉教授
中 崎 美 峰 子	富山県衛生研究所研究企画部主任専門員
亀 谷 富 夫	厚生連高岡健康管理センター所長
寺 田 光 宏	厚生連高岡病院 院長
小 栗 光	厚生連滑川病院 院長
堀 内 弘 和	富山県農協中央会農業対策部 部長
堀 田 和 豊	全農富山県本部生活燃料部 部長
西 川 藤 樹	富山県厚生連 代表理事理事長
大 浦 栄 次	富山県厚生連 健康福祉アドバイザー
村 田 美 知 子	富山県農協女性組織協議会 会長
米 原 章 浩	富山県農協青年組織協議会 会長
監 事	役 職
伊 井 徹	厚生連滑川病院 副院長
高 木 茂	富山県厚生連 常務理事
顧 問	役 職
熊 谷 武 夫	元高岡市保健センター 所長
小 川 忠 邦	元老健施設みしま野苑一穂 施設長

事務局長

吉 田 稔 富山県厚生連健康福祉課付健康管理担当審査役

理事

就任	富山県農林水産部農業技術課	課長	尾島 輝佳
	富山県農協中央会農業対策部	部長	堀内 弘和
	富山県農協女性組織協議会	会長	村田 美智子
	富山県農協青年組織協議会	会長	米原 章浩
退任	富山県農林水産部農産食品課	課長	雄川 洋子
	富山県農協中央会農業対策部	部長	大岩 満
	富山県農協青年組織協議会	会長	林 幸治